

## アジア研究教育ユニット（世界展開力・特別経費）2014 年度教育研究報告書

<b>事業課題名</b>	Kyoto Development Economics Workshop 2015
<b>代表者名</b>	京都大学経済学研究科 准教授 高野久紀
<b>事業概要</b> (600 字程度)	<p>国内の新進気鋭の開発経済学者を集め、最新の研究を報告し、お互いにコメントしあうことで、報告論文のブラッシュアップを図ると共に、今後の共同研究への発展を目指す。また、新進気鋭の学者が、現在進行中のプロジェクトを報告し、それに対して様々なコメントや議論がなされる環境を通じて、大学院生自身が、どのようなリサーチクエスチョンを立てるべきか、調査を行う際にどのような方法を取るべきか、分析を行う際にどのような点に注意すべきなのか、現在進行中の分析方法を改善するアイデアはないかなど、考えてもらうことを目的とする。こうした目的のために、一報告あたりの時間を通常の学会等より長く 1 時間とし、2 日間で計 14 本の研究報告を行った。</p>
<b>成果の概要</b> (800 字程度)	<p>報告された論文は、どれも新たなリサーチアイデア、応用性の高い分析手法を用いており、大学院生にとっても参考になるところが多かったと思われる。また、各報告に対して、非常に活発でクリティカルなコメントが行われ、論文の改訂に大きく貢献すると共に、大学院生が、論文に対してどのような視点からコメントがなされるのか、そうしたコメントがなされることを踏まえて自らはどのようなリサーチアイデアの立て方、分析方法を行うべきかを検討する、非常に有益な場となった。また、論文報告を通じて互いの研究関心や研究内容を知り、いくつかは今後の共同研究への発展の可能性が見られると共に、教員、大学院生にとっても、研究ネットワークを広げる上で非常に有益であった。私自身にとっても、マイクロクレジットに関するトピックで、神戸大学の島村准教授と共同研究を立ち上げるきっかけとなった。</p>